

Recherche 01715 グレーヌブラウス仕様書

布帛用

パターンパーツ数 7

～付属品～

接着芯

平ゴム

サイズ		80	90	100	110	120	130	140	150
総丈 (SNP～裾)		33.8	36.1	38.4	41.3	44.3	48	51.6	55.3
バスト	ゴム入れ前	68	70	72	75	78	82.5	85.5	93
	ゴム入れ後 ※	53	55	57	60	63	67.5	72.5	78
裾周り		89	91	93	96	99	103.5	108.5	114

オリジナルパターン・仕様書の著作権・販売権は Recherche が所有しています。
いかなる理由であっても、オリジナルパターン・仕様書の無断転用・複写・流用及び転
売はご遠慮ください。

■ 用語

CF(センターフロント).....前中心

CB(センターバック).....後中心

SL(ショルダーライン).....肩線

AH(アームホール).....袖ぐり

SNP(ショルダーネックポイント).....肩線の衿側

空ロック.....布端処理等に用いる、縫い合わせをしないロック

コバステッチ.....1~2 mmの端ミシン

■ 裁断前に必ず地直しを行ってください。

■ 伸び止めテープ・接着芯貼りは省略している箇所があります。

■ わかりやすくする為、画像のサンプルは寸法や糸の色を変えてあります。全体のバランス等、実際のものとは異なりますのでご注意ください。

パターンには芯を貼る位置やステッチの巾等の指示が書いてありますので、本仕様書と共に確認しながら作業を進めてください。

※以下の「裁断・接着芯」「ノッチ(切り仕付け)」は平行して作業します。

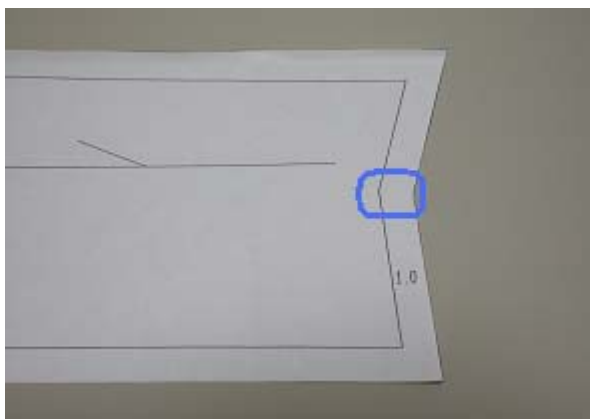
裁断・接着芯

地の目線を確認し、生地の方に注意しながら裁断します。

生地に合った接着芯を貼ります。

接着芯を貼るパーツ「前・後見返し」は少し大きめに粗裁ちします。(※接着芯を貼ると生地が縮む為、接着後に裁ち直します。)

粗裁ちしたパーツをパターン通りに裁断します。



リボンにほつれやすい生地を使う場合は、リボンの身頃縫い込み側の内角の部分にも貼ります。

※左画像参照

ノッチ(合印)を入れます

※ ノッチ(合印)とは、縫い代に 0.3 cm 程度の切り込みを入れることです。

※ ノッチを深く入れすぎるとほつれやすくなりますので注意します。

※ 各所縫い合わせの時はこのノッチどうしを合わせます。

リボン



「リボンパーツ 2 枚」を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。

角を切り落とします。



厚紙等を利用して縫い代をアイロンで倒します。

表に反し、角を整え、コバステッチをかけます。

同様にもう 1 本作ります。

ロックをかけます



「前見返し」と「後見返し」裾側縫い代に 1 mm切り落としながら 5 mm巾の空ロックをかけます。



「前中央」のギャザー側縫い代に 1 mm切り落としながら 5 mm巾の空ロックをかけます。

身頃中央のギャザー寄せ



出来上がり線で折り、アイロンをかけます。



直線ミシンでゴム通しの為のステッチを入れます。
(サイズによってステッチ本数が違います。)

パターン上では 0.8 センチ間隔のステッチを入れ、6
コールゴムを入れる指示になっていますが、厚手の
生地やギャザーの寄り難い生地を使う場合は 1 セン
チ間隔のステッチに 8 コールゴムを入れる等調節し
ます。



ゴムを通し、仮留めします。

※一番上はフリルになる為ゴムは入れません。

※出来上がり線より1ミリ縫い代側に縫い止めます。

SLを縫います



「前見返しの SL」と「後見返しの SL」を**中表**に重ね、
出来上がり線を直線ミシンで縫います。

縫い代をアイロンで割ります。





同様に、「前脇身頃の SL」と「後脇身頃の SL」を**中表**に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫います。

縫い代をアイロンで割ります。

後身頃

「脇身頃」と「見返し」を**中表**に重ねます。



前身中央止まり～リボン位置(上側)までの出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。



リボン位置(上側)に「リボン」を挟み込みます。

※リボンの上下に注意してリボン止まりに合わせて重ねます。

後身中央止まりまで縫い進み、針を下ろしたまま押さえを上げます。



縫い易くする為、リボンの縫い代に切り込みを入れます。

※切り込み過ぎないように注意します。



縫い代の端を揃えます。



リボンと後見返しの間に「後身中央」を挟み込みます。

※リボンと後身中央の表面が接するように重ねます。



そのまま裾まで縫い進めます。



「後中央止まり」から「裾」まで 1 mm 切り落としながら 5 mm 巾の空ロックをかけます。
※重なった縫い代をすべて一緒にかけます。



リボンと後身中央を中へ折り込んでおきます。

AH の出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。

※脇身頃と見返し以外を縫い込まないように注意します。



同様に反対側の AH も縫います。



縫い代に切り込みを入れます。

※カーブの大きいところは多目に入れます。

縫い代を出来上がり線でアイロンで折ります。

※カーブに合わせた厚紙を用意し、沿わせながらアイロンをかけると綺麗に仕上がります。

※NP 側の縫い代も同様に出来上がり線で折ります。

後身頃側から生地を表に反します。



前身頃

「前身中央」と「前脇身頃」を中表に重ねます。



裾側から脇の合印あたりまでを縫い合わせます。

SL 近くまで裏返します。



「前脇身頃」と「前中央」と「前見返し」の縫い代を揃えます。



「前中央止まり」から先程縫い止めた脇の合印まで縫います。

※縫い目は数針重ねます。



ロック

「前身中央止まり」～「裾」の縫い代に、1 mm切り落としながら 5 mm巾の空ロックをかけます。

※重なった縫い代をすべて一緒にかけます。



反対側も同様に縫い、生地を表に反します。

脇



「脇」の縫い代に、3 mm切り落としながら 5 mm巾の空ロックをかけます。

※裾～見返しまでロックをかけます。

※袖底の縫い代はどちら側に倒しても構いません。



「前・後中央の縫い代」を脇身頃側にアイロンで倒します。

裾～反対の裾側までステッチを入れます。



「前脇身頃」と「後脇身頃」を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。

縫い代をアイロンで割ります。

AH



「AH」にステッチをかけます。

裾



「裾」の縫い代に、3 mm切り落としながら5 mm巾の空ロックをかけます。



出来上がり線をアイロンで折ります。
ステッチをかけます。

----- 完成 -----